

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 12 日

仕 事 の 内 容	中学校部活動大会参加費等補助金事業				
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名 佐藤 洋士

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。			施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実			総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 3 教育指導費	事業 14 学校行事・部活動等運営支援事業
-----	----------	-----------	-----------	-----------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 学校長が部活動として認めている運動部・文化部数 →	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 全部活数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] スポーツ、文化両面において、部活動の活性化と大会参加に向けた意欲的な部活動への取り組みを促す。 →	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 実際に関東大会・全国大会に出場した部活数
	③ そのために何をしましたか。 中学校部活動においてスポーツ、芸術面で特に優秀な成績を収め、地域代表として全国大会等に参加する生徒の交通費や宿泊費等を補助するものである。補助する範囲として、大会要項に定められた経費に、実際に競技に参加する部員数を乗じた金額を上限として、予算の範囲内で対応している。 →	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 支援した部活数

2 指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	83	80	77	/	/
	成果指標	②の数値	台	2	3	4	/	/
	目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	部	65	66	66	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	2,569,876	2,756,212	3,060,745	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源		円	2,569,876	2,756,212		3,060,745
		特定財源		円				
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.05	0.05		0.05
		所要人数(再任用)		人				
		職員人件費(再任用以外)		円	413,350	412,650		412,200
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	2,983,226	3,168,862	3,472,945			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	本事業は、平成15年度から平成17年度までの研究事業(試行)期間を経て、平成18年度から本格実施に移行した。当初は、小学校2校、中学校1校をモデル校に指定した。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 中学校の部活動は生徒の健全育成を目的として、様々な支援活動を行っているが、生徒の部活動離れや顧問教員等の勤務条件等、部活動の活性化が必要な状況にある。	

仕 事 の 内 容	中学校部活動大会参加費等補助金事業				
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名 佐藤 洋士

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	補助を受けられる生徒の範囲の拡大。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
予算の増額を試みたが実現しなかった。					
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
大会参加費及び参加のために要する交通費の全額を補助できるよう予算の増額に努める。					

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	本来部活動における様々な経費（用具等）は、保護者負担が原則であり、大会参加に伴う交通費や宿泊費等についても同様である。そのため、特定の生徒（成績優秀者）ばかりが支援対象となる手法を改善し、部活動に参加するすべての生徒により手厚い支援が行えるよう改善していく必要がある。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	本来、保護者負担が原則である部活動大会参加費について、生徒の健全育成と部活動の活性化を促す補助金制度として実施してきたが、他の補助金が削減される中、対象生徒にとって上位大会への参加は、日頃の練習成果を発揮する場として意欲的に部活動に取り組む機会を与えること、宿泊費等の保護者負担軽減していること等、本事業が削減・廃止された場合の影響と関係者への理解を得ることを考慮し、検討する必要がある。				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。